

G H G 排出ゼロ 鑄造品

日本鑄造、来年1月から販売

日本鑄造は25日、製造プロセスにおける温室効果ガス（GHG）排出量をゼロとした鑄造品「GREEN CASTINGS」（グリーンキャストインクス）の販売を2024年1月から開始すると発表した。同社は6月、日本海事協会からカーボンフリーの鑄造品販売量について第三者認証を取得している。

販売条件は個別相談

「グリーンキャストインクス」は、日本鑄造のGHG排出削減技術で創出した削減量を、マスバランス方式を適用して特定の鑄造品に割り当て、製造プ

ロセスにおけるGHG排出量をゼロとしたもの。川崎工場（川崎区白石町）で製造する全ての鑄造品を対象とし、年間770トンを販売することが可能で、



「グリーンキャストインクス」のロゴ

同工場年間生産量の3割程度に当たる。建設機械分野や半導体分野での採用を想定している。価格や納期など具体的な販売条件は顧客と個別に相談して決める。

日本鑄造は22年度における川崎工場のCO₂排出量を13年度比で約70%削減。同社は地球温暖化問題への取り組みを経営の最重要課題の一つと位置付けており、鑄造プロセスにおけるGHG排出量の削減技術開発に積極的に取り組む「グリーンキャストインクス」の販売能力を拡大することによって、社会の脱炭素化に貢献する。